

第5次小城市行政改革大綱策定に係る行政改革推進委員会での意見・要望事項

資料2

第2回／R4.8.25					
No.	項目	委員	意見・要望事項	委員会での回答内容	対応
1	P5 これまでの行政改革の取り組み	森永委員	第1次から第4次まで改革プランの項目数が減ってきた経緯(達成○項目、未達成○項目等)の記載があると、初見の人や市民の方が見ても分かるのでよいと思う。	検討する。	実施完了プランは○項目であり、残り○項目のうち○項目を次期プランへ引き継いでいる等初見の人が分かるように経緯を記載する。
2	P7 成果を示す主な指標	岸川委員	成果指標「市役所の職員が市民のニーズに誠意を持って、迅速に対応していると思う市民の割合」のR7年度目標値73.0%がR3年度実績値78.9%を下回っているため、目標値を上方修正すべきではないか。	次回までに精査する。	目標値を見直す。
3	P7 成果を示す主な指標	井本会長	参考指標「能力や資質が向上したと思う職員の割合」について、指標の取り方が職員アンケートで「思う職員の割合」となっているため、指標とするうえでエビデンスが必要ではないか。	検討する。	参考指標を無くし、新たに成果指標を設定する。
4	P8 成果を示す主な指標	井本会長	成果指標「事務事業評価で改革改善の余地ありと評価されたもののうち、改革改善した事務事業の割合」について、全部でいくつの事業数のうちいくつが達成したのかも記載があると分かりやすい。	分かりやすい表現に変える。	達成割合とともに、(達成項目数／全事業数)についても記載をする。
5	P9 基本事業③財政状況の啓発	圓城寺委員、井本会長	財政状況の説明会、研修会は誰に対してかを記載した方がよいのではないか。また、啓発という言葉も変えた方がよい。市民に対してであれば、市民への提供としてはどうか。	啓発という言葉は修正する。	基本事業③「財政状況の啓発」を「財政情報の市民への提供」に修正する。
6	P10 成果を示す主な指標	岸川委員	成果指標「市の行政サービスに満足している市民の割合」のR7年度目標値73.0%がR3年度実績値77.0%を下回っているため、目標値を上方修正すべきではないか。	次回までに精査する。	目標値を見直す。
7	P10 成果を示す主な指標	岸川委員	施策(4)業務執行体制の充実の成果指標に、DXを推進する中で市民サービスや市役所内部の事務で改善ができたものを指標(参考指標)として出した方がよいのではないか。	検討する。	「成果を示す主な指標」は、「市の行政サービスに満足している市民の割合」とするが、市役所内部の事務で効率化できた内容について「取り組み内容(実績)」として毎年度報告する。また、効果額として「RPA等の導入により効率化された業務時間」を算出する。
8	P7～P10 成果を示す主な指標	圓城寺委員	成果を示す主な指標全体的に数値の集計方法、出典元について市民アンケートの数値、職員アンケートの数値等分かるように記載してほしい。	次回までに調整する。	数値の出典元を記載する。